

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 18日
2次評価日（課長等）	26年 3月 18日

1 事業名	消防団活動事業	コード	94501
-------	---------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 消防課	作成者 大槻 秀次
--------	--------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	消防・救急体制の充実
		予算科目	消防団活動事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	消防組織法第9条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市民の安全・安心の確保を図るため、地域防災の中核的存在としての消防団活動全般。		
目的	対象者	市民	
	意 図	火災などの災害から、市民の生命、身体及び財産を守り、安全・安心な都市の形成。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p><消防団の出動> 【出動：600件 延べ出動人員：15,500人】</p> <p>① 火災等各種災害出動 出動回数：413件 延べ出動人員：11,189名 （内訳：火災10件 風水害4件 捜索2件 広報指導53件 特別警戒57件 調査150件 その他137件）</p> <p>② 実践を想定した訓練 実施回数：187件 延べ出動人員：4311名 主な訓練：岡谷市中継放水訓練253名 岡谷市消防操法・ラッパ吹奏大会321名</p> <p>③ 岡谷市消防出初式 実施回数：1回 出動人員293名</p>			
前年度の課題への対応	特になし。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	訓練等実施回数			単位	回
実績値	3	3	3		
*指標の説明	岡谷市消防出初式・ポンプ操法、ラッパ吹奏大会・中継放水訓練への参加率。				
② 成果指標（指標名）	訓練等出動人員			単位	人
目標値	1,065	1,063	1,070	1,070	
実績値	1,250	1,190	867		
達成度	117.4%	111.9%	81.0%		
*指標の説明	出動報告による。				
*目標値の設定方法の説明	団員実員×3回の65%を目標とする				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	79,072,279	68,695,474	65,099,000	70,278,000
経常経費	79,072,279	68,695,474	65,099,000	70,278,000
臨時的経費	14,517,200	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000
正規職員の人数(人)	1.90	1.90	1.90	1.90
③ 合計コスト(①+②)	94,272,279	83,895,474	80,299,000	85,478,000
前年度比		89.0%	95.7%	106.4%
財源内訳				
一般財源	87,255,229	73,513,424	68,338,950	73,137,000
特定財源	7,017,050	10,382,050	11,960,050	12,341,000
* 特定財源の説明 消防団員退職報償金収入、消防団員等遺族補償年金収入、消防団員福祉共済事務負担金				
④ 活動一単位あたりコスト	31,424,093	27,965,158	26,766,333	
前年度比		89.0%	95.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
諏訪消防協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	593,878	595,283	593,008	594,000
分団運営交付金	件数	1	1	1	1
	金額	7,411,300	7,411,300	7,411,300	7,412,000
団長会議等出席負担金	件数	1	2	1	2
	金額	14,000	24,000	14,000	28,000
団員等公務災害補償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	13,745,306	1,228,043	1,228,043	1,229,000
団員退職報償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	10,540,800	10,540,800	10,540,800	10,541,000
消防団統合記念事業負担金	件数	1	0	0	0
	金額	2,000,000	0	0	0
消防団員福祉共済掛金	件数	1	1	1	1
	金額	1,647,000	1,647,000	1,647,000	1,647,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	35,952,284	21,446,426	21,434,151	21,451,000
	割合	45.47%	31.22%	32.93%	30.52%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 72.9%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 81.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	○出勤率については概ね目標を達成している。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受け、団員確保、公務員の入団促進、処遇改善、装備の充実、教育訓練の標準化等が大きな課題である。 ○消防団に配備されている消防ポンプ自動車の更新事業に取り組む必要がある。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	○「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受け、処遇改善のうち、退職報償金は6月の条例改正を目途に進める。 ○消防団員確保対策として、魅力ある消防団づくりとして「消防団員サポートショップ制度」「消防団協力事業所制度」「岡谷市入浴施設補助制度」について継続実施する。	
	改善開始時期	H26年4月～

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---